

株式会社アクタック 製品ガイド

- 酸循環型分解装置 エコプレシステム — ありそうでなかった新発想の前処理装置
- SiCコーティング 高温加熱装置 — 最高使用温度450℃
- PFA製 酸高純度化装置、器具洗浄装置 — コンパクトで簡単操作
- 高圧分解容器、実験用高圧合成反応装置 — 実験、難分解試料の分解を安全に
- ケルダール法 窒素/タンパク分析装置 — ケルダールのスタンダード機
- 燃焼法（改良デュマ法）窒素/タンパク分析装置 — 価格、ランニングコスト、精度に注目
- 迅速ソックスレー 手動/自動溶媒抽出装置 — 脂質、添加物などの抽出に
- ダイエタリーファイバー分析 酵素分解/ろ過洗浄装置 — 食品表示法に準拠
- 水分測定装置 マーク3 — 溶剤・溶媒サンプルに特化

**オペレーターに優しく、手間のかからない、
快適に作業ができる装置をご提案します！**



<https://www.actac.co.jp>

ICP分析、水銀分析などの前処理装置

酸循環型分解装置 エコプレシステム — 200℃加熱でも乾固しない！ありそうでなかった新発想の前処理装置



捕集容器に
捕集液を入れる

分解容器に
試薬を入れる

ホットプレートに置き
スタートボタンを押す

**加熱スタート後、途中の作業は必要ありません。
他の仕事に専念できます！**

エコプレシステムはPFA製容器を使い、分解試薬が容器内で循環するしくみになっているため揮発性元素の損失や試薬の蒸発を防ぎます。また乾固しないので試薬の継ぎ足しの必要がなく、安全に効率よく分解が可能。

熱源は熱伝導率の高いグラファイトホットプレート使用。ホットプレートとブロックにはフッ素樹脂のコーティングを施し、酸による腐食防止や微量分析時のコンタミも防止。

食品、穀物、土壌の他、プラスチックなど化成品、合金の分解にもおすすめ。分解効率の向上、酸揮発の大幅な減少、労働安全性向上に加え、重要なコスト削減を実現するシステムです。

容器ラインナップは15mL、30mL、60mL、100mL、300mL

高圧分解容器 ダイジェステック DABシリーズ — 難分解試料を安全に分解



ダイジェステックDABシリーズは、高純度ステンレススチール製外容器と高純度のフッ素樹脂製内容器で構成された圧力容器です。DABシリーズは、圧力超過に対する安全装置を内蔵しており、難分解性の試料を安全に分解することが可能。従来の高圧酸分解容器に比べ大容量で安全な加熱が可能になり、水熱合成などの合成・反応装置としても利用されています。

PFA製エコプレサブボILINGポット、エコプレクリーニングポット — 酸高純度化装置、器具洗浄装置



エコプレサブボILINGポットは、冷却水を必要としないコンパクトで簡単に酸を蒸留できるコストパフォーマンスに優れたサブボILING装置です。

エコプレクリーニングポットは、試験に使用した器具等を簡単に酸洗浄できるコンパクトで安全性に優れた加熱浸漬洗浄用のポットです。熱源はグラファイト製ホットプレートを使用。加熱温度・加熱時間はコントローラーで管理が可能。

実験用高圧合成/反応

ハイプリアクター BRシリーズ — 基礎研究から中規模スケールまでの合成反応実験をサポート



ハイプリアクター BRシリーズは、新素材の開発や水熱合成法の実験・ナノテクノロジーの研究など、高温・高圧下で合成・反応実験を行うために開発された圧力容器です。各種実験・研究に対応できるように容器の材質を含め、内部フッ素樹脂容器、スターラー、圧力計、バルブ、CCDカメラなど全てのパーツをご希望に応じて組み合わせることができます。容量は25mLから最大5,500mLまで対応し、幅広い研究に利用することが可能です。

窒素/タンパク自動蒸留・滴定・計算装置 スーパーケル1600型

全自動分析装置1600/1650型オートサンプラーシステム

1600型は、蒸留・滴定・計算機能が内蔵された全自動蒸留装置、
1600/1650オートサンプラーシステムは、最大24検体までの試料を試薬分注から蒸留・滴定・計算まで全自動で行うフルオートタイプの装置です。
両機種ともに、世界各国で公定法として認められている比色法を採用。
操作性の良さはオペレーターの意見を取り入れた最新設計で、
高い精度はもちろんのこと、メンテナンス性・安全性を重視した国産ケルダール装置です。



1600型



1600/1650型
オートサンプラーシステム

自動水蒸気蒸留装置 UDK129型・139型

使いやすさ、高精度そして低価格な自動蒸留装置。
耐酸性に優れたプラスチック製のボディを採用し、機能性・操作性・安全性も兼ね備えています。
129型は、蒸留時間の設定及び自動アルカリ分注量の設定が可能。
分析検体数の少ない研究室や学生実験におすすめ。
139型には、自動希釈水分注機能と蒸留後の廃液を自動排出する機能が追加。
また両装置はアルコール蒸留などの水蒸気蒸留装置としても使用可能。



UDK129型



UDK139型

低価格なスタンダード DKシリーズ、オートリフト付き自動分解装置DKLシリーズ

全機種アルミ合金ブロックを採用、均一な加熱による精度/再現性の高い分解が可能。アルミブロックの改良によって室温から420℃の昇温時間はわずか30分、高効率で省エネ型の分解装置です。
土壌・肥料などの多量分解には42本同時分解装置をおすすめ。
DKLシリーズは分解終了後、チューブラックを自動で持ち上げ空冷。
オートリフト機能はオペレーターへの負担を軽減し、安全性の向上につながります。



DKシリーズ



DKLシリーズ

燃焼法(改良デュマ法)窒素/タンパク分析装置 – 小型、高精度、低分析コストしかも低価格

NDA702デュアルキャリアガス

NDAシリーズは、食品、食品原料、飼料、医薬品などさまざまな試料の窒素/タンパクを改良デュマ法により測定する装置です。702型はキャリアガスにヘリウムとアルゴンの選択が出来るため、ヘリウムの供給不足の心配も回避できます。シンプルな流路により高精度で故障が少なく、しかも酸素などの消費量を含めたランニングコストを極限まで低減し、メンテナンス性にも優れた装置です。

測定限界は、0.001mgN (He使用時)
※ヘリウム専用のNDA701型もございます。



NDA702型

溶媒抽出装置 迅速ソックスレー 全自動SER158、スタンダードSER148 シリーズ



全自動タイプ



スタンダードタイプ

食品、飼料、農産物、医薬品、土壌、プラスチック、合成ゴムなどあらゆる試料の油脂分、脂肪分、可溶性物質などを迅速安全に抽出する装置です。

従来のソックスレー抽出法は8時間、16時間などの長時間抽出が必要ですが、SERは沸騰した溶媒でサンプルを煮沸するため、抽出時間を大幅に短縮が可能。

また、全自動タイプは溶媒の分注から回収までの作業は移し替えがなく、安全に使用できます。

ダイエタリーファイバー分析装置 酵素分解装置GDE/ろ過洗浄装置CSF6 - 食品表示法準拠



酵素分解装置GDE



ろ過洗浄装置CSF6

酵素分解装置とろ過洗浄装置の組み合わせで、食品、飼料、食物原料中のダイエタリーファイバー（食物繊維）の定量分析ができます。

国際的に主流となっているプロスキー法（酵素-重量法）に対応

水分計 マーク3 - 溶剤・溶媒サンプルに特化した加熱乾燥式水分計



マーク3は、高精度石英ヒーターと専用設計された精密電子天秤を組み合わせた乾燥重量法による水分測定装置です。

カルフィッシャー法により測定されていた微量水分も、マーク3なら試薬を使わずサンプルをお皿に入れるだけで簡単に50ppm以上から100%近い水分測定が可能。また、揮発する途中経過を表示・プリントアウトできる機能は、研究開発にも最適。揮発成分を素早く排出できる独自の構造により、インク・ペンキ・接着剤・特殊塗料等、溶媒系サンプルの品質・工程管理に多くの企業で採用されております。

* 外観・仕様は、改良の為予告なく変更されることがあります。

- 株式会社アクタックは、世界の優秀な理化学分析装置及び、環境試験装置を輸入販売しております。
- 日本のお客様のニーズに合わせた装置の製造・販売もしており、全国のお客様から高い支持を受けています。
- このアクタック製品ガイドは、弊社の代表製品のみを掲載しております。全ラインナップや仕様については、気軽にお問い合わせください。ホームページでもご案内しております。

ルーチン分析を安全/快適に **株式会社アクタック**

21.10

本社 〒124-0005 東京都葛飾区宝町2-10-8

TEL 03-5698-7051 FAX 03-5698-7052

E-mail : headoffice@actac.co.jp

<https://www.actac.co.jp>

©2021 Actac.co., Ltd